

地域社会と連携しながら継続して環境美化に取り組む全国の学校を表彰

「第18回 環境美化教育優良校等表彰事業」 小学校、中学校の活動で最優秀校4校ほか決定

【最優秀校】

文部科学大臣賞	広島県	福山市立 ^{かすが} 春日小学校
農林水産大臣賞	福井県	若狭町立 ^{みかた} 三方小学校
環境大臣賞	岩手県	久慈市立 ^{こそで} 小袖小学校
協会会長賞	群馬県	高崎市立 ^{きょうがしま} 京ヶ島小学校

清涼飲料・ビールなど飲料業界6団体で構成する、公益社団法人食品容器環境美化協会（略称：食環協、会長：東 隆）では、今年度の「環境美化教育優良校等表彰事業」において、都道府県より推薦を受けた全国の小・中学校の中から最優秀校4校、優秀校6校、優良校27校を選定し、表彰いたします。

この表彰事業は、地域社会と連携しながら環境美化教育に独創的・継続的かつ熱心に取り組み、「公共の場所の美化」または「飲料あき容器等のリサイクル」を実践し、地域の環境美化に大きく寄与している小・中学校等を選出し表彰するものです。

最優秀校4校は、都道府県の推薦によって選出された中から審査会による厳正な審査を経て、「文部科学大臣賞」「農林水産大臣賞」「環境大臣賞」「協会会長賞」に決定いたしました。なお、環境美化活動をより包括・総合的にとらえるため、小学校と中学校の部門を区分せずに表彰しております。

受賞校の取り組みの中でも顕著なのが、岩手県久慈市立小袖小学校です。25年もの長きにわたり、登下校時のごみ拾いや海岸清掃活動に励んできました。その経験を活かして、児童は住民の協力を得て、花苗を育てたり、観光資源に着目した絵葉書を作ったりしながら地域の活性化に貢献、郷土に伝わる伝統芸能を守るなど、ふるさと学習を基盤にした多様な美化運動を実践しています。

他の最優秀校3校も、地域に即した環境問題の解決を目指して、総合的な学習の時間を核とした教科横断的なカリキュラムを活用し、地域に働きかける美化活動に取り組んでいます。

4校ともに、次世代に継承していることが高く評価され、今回の受賞に至りました。

本年度の表彰式は2018年1月26日（金）、浅草の下町界限や東京スカイツリーを一望する「浅草ビューホテル」（東京都台東区）にて、最優秀校4校を招いて開催いたします。

式典では、各受賞校の美化活動の様子をインタビュー映像やスライドで紹介しながら、生き生きと取り組む児童の前向きな声や教師の思い、サポートする地域住民の熱意をお伝えしてまいります。



公益社団法人食品容器環境美化協会は、1973年に設立されて以来44年の間、飲料容器の散乱防止とリサイクル推進の啓発を中心とした環境美化の推進に努めています。日本の環境が美しくなることを実現するため「環境教育の支援」、「ポイ捨て防止の啓発」、ならびに「アダプト・プログラムの推進」などの事業を展開しています。

当協会の「環境美化教育優良校等への表彰」は、「環境美化教育の助長」及び「地域の環境美化の啓発」を目的に2000年度に発足し、今回が18回目となります。

その間、地域の環境美化やリサイクル推進を積極的に取り組む小・中学校を表彰し、当該学校の児童生徒の活動を励ますとともに、広くその活動を紹介してきました。同時に、この表彰を通じ、環境美化教育の全国における活性化にも寄与してまいりました。

環境教育への取り組みが年々重要になる中で、本年も全国の都道府県から、環境美化教育に独創的かつ熱心に取り組む、校内だけでなく地域とともに環境美化に大きく貢献した活動を実践している優秀な小・中学校が多数推薦されました。これら各校の活動内容を、審査委員が厳正に審査した結果、このたび4校が最優秀校、6校が優秀校、27校が優良校として選定され、表彰の運びとなりました。

■本年度の各都道府県からの推薦状況

第18回は、環境美化につながる散乱防止活動またはリサイクル推進活動を継続している小学校・中学校から都道府県が1校を推薦する方式

	合計
推薦があった都道府県数	37
推薦校数	37

■本年度審査結果

審査委員会による審査の結果、受賞校を以下の通り決定

	受賞校数
最優秀校	4
優秀校	6
優良校	27

最優秀校に選ばれた4校の活動概要およびその他各賞の受賞校は以下の通りです。

■最優秀校の活動概要（詳細は P7 以降参照）

散乱防止活動またはリサイクル推進活動	
文部科学大臣賞	<p>広島県 福山市立春日小学校^{かすが}</p> <p>通学路や近隣にある地域の憩いの場「春日池公園」の清掃活動に、住民、青少年育成協議会などと連携して取り組む。単に散乱ごみを回収するだけでなく、ごみを分析することで地域環境に主体的に働きかける実践力を養っている。また、福山市の環境事業「ふくやまエコトリアスロン」とリンクしながら、児童が校内で宣伝と運営を担う空き缶などの回収にも励む。同時に、福山エフピコリサイクル工場など企業の協力を得て知識を深めるかたわら、楽しみながら美化活動を実践。さらに、近隣エリアの小・中学校に取り組みを発信し、地域に輪を広げている。地元の文化祭では、ポスターなどを作成し、ごみの分別、リサイクルの大切さを呼びかけるなど、地域の一員として積極的に啓発活動を展開。いずれも、学年に応じたテーマで総合的な学習や各教科を連動させながら、学校を核にした地域、企業、行政と協働の視点で環境教育に取り組み、社会に貢献する力を養っている。</p>
農林水産大臣賞	<p>福井県 若狭町立三方小学校^{みかた}</p> <p>ラムサール条約湿地に登録されている「三方五湖」を校区に抱える同校は、地域住民をはじめ鳥浜漁協、福井県立大学、行政などと連携した多様な環境美化活動に取り組んでいる。湖岸一斉清掃活動では、多数の住民たちと協力しながらポイ捨てごみを回収し、地域全体で湖を守ろうという意識を高めている。湖につながる川の上流においては、専門家の指導のもと、有機栽培・無農薬の米を栽培。年間通じて、児童が田植えや稲刈りなど米づくりを行うその田んぼでは、イネといっしょにコイやフナを卵から育てており、生育した稚魚を湖へ放流するなど、資源維持にも一役買っている。そうした活動が奏功し、絶滅危惧種の「シャジクモ」、準絶滅危惧種「イチョウウキゴケ」などの水草が田んぼで確認されるなど、生物の生育環境が向上。美化活動を通して、米づくりや湖の重要性を学んだ児童は、地域への愛着や誇りを抱くようになり、ふるさと教育の基盤が整っている。</p>
環境大臣賞	<p>岩手県 久慈市立小袖小学校^{こそで}</p> <p>25 年以上にわたり地域のごみ拾い活動を行っている。3 つの活動に分けて取り組むのが同校の特徴で、年 5 回行う「クリーンの日」は、主に登校時に散乱ごみを回収する。年 1 回実施する「全校クリーン活動」は、子ども会ごとに下校しながら地域のポイ捨てごみなどを回収。「浜クリーン活動」は、海水浴の前に浜の漂着ごみなどを回収している。いずれも「ごみ」に着目して始めた取り組みだが、地域の協力を得ながらさまざまな美化活動に広がっている。また、住民とともに花の寄せ植えプランターを作り、まちを美しくするとともに、バスセンターの美化活動を行うなど、地域環境をよくするだけでなく、震災で甚大な被害を受けた住民の心を笑顔にする取り組みへと深化。体験学習から問題を見つけて、発達段階に応じた教科・領域と関わりながら環境教育を進め、ふるさとの自然や文化を次代に引き継ぐ意思が育っている。</p>
協会会長賞	<p>群馬県 高崎市立京ヶ島小学校^{きょうがしま}</p> <p>“わたしたちは、気持ちの良い学校生活ができ、大切な地球を守っていけるように、みんなのできることをしていきます”。そんなスローガンを掲げて 2009 年から、全校を挙げてごみの削減や省エネ、リサイクルに積極的に取り組んでいる同校。毎月 1 日を環境デーに設定し、アルミ缶や牛乳パックなどの回収を行っている。環境美化委員会を中心に、校内放送やチラシなどで呼びかけを徹底し、月平均 500 名余りの児童や保護者、校区内の住民が協力している。あわせて、教室や花壇、玄関などを季節の花で彩る花いちりん運動・花いっぱい活動、手洗い時などの節水や節電、ごみの発生抑制と削減などにも注力。いっぽうで、同校の伝統行事でもある尾瀬の自然環境学習では、貴重な生態系に触れ、身近な自然を守る大切さを学ぶ。そうした体験を糧に、児童は主体的に美化活動に励みながら、教科・領域等の学習と絡めて環境問題の解決にかかわろうとする態度を培っている。</p>

■その他受賞校:

<優秀校> 協会会長賞 6校

新潟県	長岡市立川崎小学校	石川県	七尾市立田鶴浜 <small>たつるはま</small> 小学校
徳島県	鳴門市第一中学校	長崎県	小値賀町立小値賀 <small>おぢか</small> 小学校
宮崎県	都農町立都農 <small>つの</small> 小学校	鹿児島県	龍郷町立龍 <small>りゅうほく</small> 北中学校

<優良校> 協会会長賞 27校

北海道	帯広 <small>おびひろろう</small> 聾学校	青森県	五所川原市立五所川原第三中学校
宮城県	石巻市立住吉中学校	秋田県	秋田県立能代支援学校
山形県	酒田市立亀ヶ崎小学校	福島県	南会津町立伊南 <small>いな</small> 小学校
茨城県	常陸太田市立里美小・中学校	栃木県	高根沢町立中央小学校
東京都	大田区立馬込東中学校	神奈川県	南足柄市立南足柄中学校
富山県	高岡市立五位中学校	山梨県	山中湖村立東 <small>ひがし</small> 小学校
長野県	諏訪市立上諏訪中学校	静岡県	三島市立山田小学校
愛知県	新城市立鳳来中学校	三重県	四日市市立楠 <small>くす</small> 中学校
京都府	南丹市立八木中学校	大阪府	泉佐野市立第一小学校
兵庫県	神戸市立長坂中学校	奈良県	葛城市立當麻 <small>たいま</small> 小学校
岡山県	新見市立新砥 <small>あらと</small> 小学校	愛媛県	鬼北町立広見中学校
高知県	宿毛市立宿毛 <small>すくも</small> 中学校	福岡県	篠栗町立篠栗北 <small>ささぐりきた</small> 中学校
佐賀県	佐賀市立嘉瀬 <small>かせ</small> 小学校	熊本県	熊本市立河内 <small>かわち</small> 中学校
大分県	大分市立こうざき小学校		

■表彰授与

- 最優秀校4校の表彰式は、下記にて行います。

2018年1月26日(金) 15:30~17:10 (受付 14:30~)

浅草ビューホテル 3階「祥雲の間」

東京都台東区西浅草3-17-1 電話03-3847-1111

<http://www.viewhotels.co.jp/asakusa/> *つくばエクスプレス「浅草駅」直結

懇談会 17:30~19:00 (予定) 25階「大輪の間」

- 優秀校ならびに優良校については、後日、各都道府県において表彰状等を伝達します。

環境美化教育優良校等表彰事業の概要

■主 催：公益社団法人 食品容器環境美化協会

■後 援：文部科学省、農林水産省、環境省

■表彰の対象：環境美化教育に独創的・継続的かつ熱心に取り組み、「公共の場所の美化」または「飲料あき容器等のリサイクル」を実践し、地域の環境美化に大きく寄与している小・中学校、およびこれに準ずる小・中学生の団体

■表 彰： 最優秀校 文部科学大臣賞 1校

最優秀校 農林水産大臣賞 1校

最優秀校 環境大臣賞 1校

最優秀校 協会会長賞 1校

・賞状と副賞を贈呈

・上記の他、「優秀校」、「優良校」に対し、協会会長賞と副賞を贈呈

■応募・推薦・審査：

【最優秀校・優秀校・優良校】

都道府県の環境整備主管部局、または教育主管部局が推薦する小・中学校を審査委員会で審査し、表彰する

■審査委員：

[審査委員長] 小澤 紀美子 東京学芸大学名誉教授・東海大学大学院客員教授

[審査委員] 柏木 順二 公益財団法人 日本環境協会 専務理事

國分 重隆 全国小中学校環境教育研究会 顧問

東京都教職員研修センター研修部教育開発課 教授

小島 あずさ 一般社団法人 JEAN 事務局長・副代表理事

小山 博敬 公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会 代表理事専務

藤川 優 公益社団法人 食品容器環境美化協会 企画委員

大塚製薬株式会社 業務管理部 次長

内田 光喜 公益社団法人 食品容器環境美化協会 企画委員

アサヒビール株式会社 経営企画本部 環境・ARP 室 担当課長

(敬称略)

公益社団法人食品容器環境美化協会の概要

1973年（昭和48年） 任意団体「食品容器環境美化協議会」として発足

1982年（昭和57年） 社団法人「食品容器環境美化協会」（農林水産大臣設立認可）

設立以来44年間、飲料容器の散乱防止など、国土の環境美化の推進に努め、公共の福祉の増進に資するため、各種啓発活動を行っている公益法人です。

2011年（平成23年） 公益社団法人「食品容器環境美化協会」（内閣府認可）

公益法人制度の改革に伴い、内閣総理大臣から公益社団法人の認定を受け、

「公益社団法人食品容器環境美化協会」として再発足しました。

- 主な活動：
- 新しいまち美化手法「アダプト・プログラム」の普及と推進活動
 - 小・中学校でのパソコン学習支援サイト「まち美化キッズ」の運営、
教育者向け「環境美化 学習のガイド」の制作提供等の次世代への
環境教育支援 <https://www.kankyobika.or.jp/env-study-support>
 - 市民団体等への環境美化活動の支援
 - 「ポイ捨て防止」啓発活動
 - 散乱ごみ対策の調査・研究 等

- 構成団体：
- 一般社団法人 全国清涼飲料連合会 <http://j-sda.or.jp/>
清涼飲料メーカーなど企業会員45 会員86社、組合会員20 会員176社、賛助会員141社
からなる社団法人
 - 一般社団法人 全国トマト工業会 <http://www.japan-tomato.or.jp/>
トマト加工製品メーカーなど35社からなる社団法人
 - 一般社団法人 日本果汁協会 <http://www.kaju-kyo.ecnet.jp/>
果実飲料メーカーなど122 会員からなる社団法人
 - 日本コーヒー飲料協会
コーヒー飲料メーカーなど19社からなる任意団体
 - コカ・コーラ協会
日本コカ・コーラ社と全国のコカ・コーラボトリング社からなる任意団体
 - ビール醸造組合 <http://www.brewers.or.jp/>
キリン、サッポロ、サントリー、アサヒ、オリオンのビール5社による特別認可法人

■本件に関するお問い合わせ先■

公益社団法人食品容器環境美化協会（食環協）

〒108-0023 東京都港区芝浦 2-15-16 田町 K.S ビル 6 階

TEL. 03-5439-5121 FAX. 03-5476-2883

ホームページ <https://www.kankyobika.or.jp/>